

会員各位

平成 31 年 1 月 7 日

矢作川環境技術研究会

会長 株式会社安藤・間名古屋支店

第 5 回 建設工事における汚濁防止対策「矢作川方式」若手勉強会 受講者募集について（依頼）

1. 開催趣旨

持続可能な流域づくりに向けて自然共生にふさわしい地域整備の在り方とその具体的推進が求められています。2014 年、名古屋で ESD（持続可能な教育）国際会議が開催されました。ESD の取り組みは様々な主体で推進されています。各事業や施工にも環境技術への重要度と内部化が増してきた情勢の中で、長年、流域をあげて水環境の改善と保全対策に先進的に取り組み実績を上げている矢作川方式の経験にも関心が広がっています。

本事業は、若手の現場担当者並びに異動で名古屋支店等に初めて赴任された方を対象として、矢作川方式で培った先輩方の実践経験による環境保全技術を学び、広く流域圏の視野を持って今後の事業や施工現場での課題対応に積極的に挑戦していただくことを目的に開講するものです。

2. 主催

矢作川環境技術研究会

3. 内容

今回の若手勉強会は講座形式で、講師に顧問はじめ矢作川方式による環境保全対策工法等に経験有る技術者（OB 含む）を招請します。なお、現地は「現地研修会」で実施済みです。

(1) 日時 平成 31 年 2 月 6 日（水）12：30（受付開始）、13：00（開講）～17：00（閉講）

(2) 場所 明治用水会館 2 階 会議室（アクセス→<http://www.midorinet-meiji.jp/>）

(3) 内容 基本：環境に配慮した施工計画／矢水協事前協議手続き（開発行為・施工計画書）
／汚濁防止対策の基本・流出防止対策作業標準／自然由来の重金属等対策
事例：矢作川流域の 4 現場事例
質疑応答、アンケート

(4) 参加費 受講者お一人**¥2,000.-**（配付資料代）

教材：テキスト「新版 建設工事における汚濁防止対策の手引き 第二版」2016

※テキストをお持ちの方は持参ください。お持ちでない方には「初版本」を無料貸与します。

当テキストは、当日販売もいたします。

(5) 定員 50 名（会員枠。1 社あたり 2 名以内、但し役員会社は 1 名でお願いします。）

受講申込書に要件を記入して研究会事務局へ FAX 又は E-mail で送信してください。

(6) 申込み期限 1 月 31 日（木曜日）

※ 申込書着信順で受け付け、登録確認書をお送りします。期限前でも定員に達し次第、受け付けを打ち切ります。登録後に氏名変更される場合は、変更を明記して再度お申込みください。

4. その他

(1) CPDS 学習プログラムの申請を行います。この証明書はご希望の方に発行します。

(2) 事後は実施結果を取りまとめ、次年度に向けて課題を抽出します。

矢作川環境技術研究会

第5回 建設工事における汚濁防止対策「矢作川方式」

若手勉強会 受講申込書

平成 31 年 月 日

「矢作川方式」若手勉強会に受講を申込みます。

[申込者]

会員登録番号 _____ (封筒の宛名下にあります。会員外は必要ありません。)

名 称 _____

所属部 課名 _____

参加者氏名 ふりがな _____

テキスト（下記）の確認（該当する番号を○で囲ってください。）

「新版 建設工事における汚濁防止対策の手引き 第二版」

天野 博 監修・矢作川環境技術研究会手引き編集委員会編,2016年発行.

I. 不要 → 当日持参します。

II. 必要 → 当日貸与を希望します。（無料、終了後に返却します。）

III. 必要 → テキスト ____冊 購入します。（¥2,000円/冊、受付で徴収します。）

CPDS 受講証明書の希望確認（該当する番号を○で囲ってください。）

I. 不要

II. 必要 → CPDS 登録番号： _____ (必ず記入)

(閉講後に CPDS 技術者証等で本人確認して手渡します。)

参加登録確認書（「Eメール」または「FAX」）の送信（注意に従って記入ください。）

注意：受講登録確認書は「Eメール」又は「FAX」で送信します。Eメール アドレスは鮮明に記入ください。

連絡方法とあて先（ご希望の方法に○で囲ってください。→） ____・ Eメール ____・ FAX

Eメール アドレス _____

TEL 番号 _____ FAX 番号 _____

[送信先] 矢作川環境技術研究会 事務局 行

Eメール jimukyoku@yakanken.jp FAX 052-324-8182